

第2節 こども家庭センター

〔総括概要〕

こども家庭センターでは、全ての妊産婦、こども、子育て家庭の心身の健康の保持増進を図るとともに、発達支援や児童福祉などに関する包括的な相談支援を行った。

おやこはぐくみ係では、妊娠前から産前産後、乳幼児期における母子保健や子育て支援において、全ての妊産婦、乳幼児、子育て家庭を対象に、健康の保持・増進に関する妊産婦健康診査や乳幼児健康診査などの各種健康診査、両親教室、プレパパ教室、離乳食教室などの健康教育や子育て相談、若年・多胎児家庭交流などの相談・交流事業を実施した。

また、これらの事業や妊娠届出時、妊娠8か月時、生後2週間、生後2か月時などの面談を通じ、子育て家庭の状況や実情を把握するとともに、相談内容やニーズに応じて必要な、産前産後のサポート（産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業など）や子育てサービスの提供を行うなど切れ目ない相談支援を行った。

こどものすだち応援係では、発達の遅れや心の成長に課題を持つこどもたちに対し、医師や心理相談員、言語相談員、保健師等が電話や面談を通して、個人の課題に寄り添いながら支援を実施した。

就学前の児童に対しては、認定こども園、幼稚園、保育園の巡回訪問や5歳児発達相談、乳幼児発達相談等を実施し、発達障がい児等を早期に療育の場に繋げたり、未就学児ことばの教室など、子どもの特性に応じた支援環境の整備を図った。

更に、就学後も支援を継続していくため、学校等を窓口として相談がある保護者に対応し、集団生活や家庭環境に課題を持つ児童の支援を行った。

児童家庭相談係では、子ども家庭総合支援拠点において、こども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行い、児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭児童相談室及び養育支援家庭訪問事業において、児童の家族関係の健全化や児童の養育の適正化に努めた。また、ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、関係機関と連携しヤングケアラーの状態にある児童の把握と当該家庭の相談支援に努めるとともに、広報活動によるヤングケアラーの普及啓発を行った。

ひとり親家庭の福祉については、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子（父子・寡婦）福祉資金貸付申請の受付等を行った。

要保護女子等については、配偶者等からの暴力による被害者の自立及び支援を行うため、配偶者暴力相談支援センターで、より細やかな相談支援を行えるように努めた。

1 こどもなんでも相談室事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付（各総合支所分を含む）

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行い、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるため、窓口において母子健康手帳の交付を行った。母子健康手帳交付者及び転入の妊婦に対して、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行った。また、リスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況

（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
		妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入
704	743	704	6	12	21

・転入の妊産婦 49人

・要支援ケースカンファレンス実施回数 51回

・要支援ケースカンファレンス検討者数 318人

(2) 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500g未満の児を出産、または妊娠37週より前に早産した場合は、保護者からの届出を受け、保健師や助産師等が家庭訪問を実施し、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行った。

・届出数 66件

・訪問延べ数 87件

(3) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・訪問実数 33件

・訪問延数 42件

(4) 産前産後サポート支援

ア 若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産や安心して子育てが出来るよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

・支援件数：13件

イ 多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

・プレツインズ（多胎児出産準備教室）

実施数：1組

- ・産後ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：産婦5件

- ・makingツインズフレンズ（多胎児家庭交流会）

実施回数：3回

参加延べ人数：54人

参加組数：17組

ウ 産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

- ・利用状況

単胎		双胎	
利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)
20	202	6	76

(5) 産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後1年未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

- ・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数 (人)	延利用回数 (回)	実人数 (人)	延利用回数 (回)	実人数 (人)	延利用回数 (回)
70	166	38	103	124	281

(6) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

- ・対象者数 640人
- ・実施数 635人
- ・実施率 99.2%

2 妊産婦健康診査事業

(1) 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回（多胎妊婦は19回）と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施）

- ・妊婦健康診査受診状況（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

受診者数	684	668	669	666	642	639	620
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
受診者数	638	612	572	614	469	336	183
回数	15回目	16回目	17回目	18回目	19回目	計	
受診者数	2	0	0	0	0	8,014	

・産婦健康診査受診状況

(単位：人)

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	568	617	1,185

(2) 妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

	対象者数(人)	受診者数(人)
妊婦	704	275
産婦	593	171

3 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。4か月児健診及び9か月児健診では、助産師を配置し、乳房トラブルの対応方法や母乳の与え方等の相談に応じ、1歳6か月児及び3歳児健診では、心理職を配置し、親子関係や発達障がい等の相談に応じた。4か月児健診から3歳児健診では、栄養士による離乳食や食事に関する相談を行った。

更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。精密検査対象となったのは全体の15.9%であり、うち有所見者は9.8%であった。未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

(イ) 健康診査

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
4か月児	34	651	648	99.5	96	31	0	13
9か月児	35	692	689	99.6	123	43	2	25
1歳6か月児	32	760	751	98.8	119	35	5	51
3歳児	37	925	920	99.5	134	25	49	225

(イ) 相談・指導

(単位：件)

区 分	母乳相談	栄養相談	心理相談
-----	------	------	------

4か月児	108	38	-
9か月児	32	211	-
1歳6か月児	-	109	143
3歳児	-	116	181

イ 1か月児健診

疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、児のすこやかな成長と子育て家庭を支援することを目的に、1か月児健康診査の費用の助成を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)			
			異常なし	要経過観察	要治療	要指導
582	580	99.7	559	19	0	2

※異常なしに記載なし含む

ウ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の予防知識の普及とう歯の罹患率減少につなげることを目的に、市内の歯科医院において、2歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数 (人)	R5受診数 (人)	R6受診数 (人)	計	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
R3年度生まれ	876	445	217	662	75.6	24 (3.6%)
R4年度生まれ	792	-	469	469	59.2	14 (3.0%)

※受診可能期間が2歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

エ 6歳児歯科健康診査及び育児相談

歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図ることを目的とし、市内の歯科医院において、6歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
1082	424	39.2	81 (19.1%)

オ 乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
644	614	95.3	601	13	0

カ 新生児聴覚検査

聴覚障がいや新生児期に発見し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数	受診数	受診率	結果内訳 (人)
-----	-----	-----	----------

(人)	(人)	(%)		
646	644	99.7	異常なし	要精密検査
			639	5

(2) 健康教育

ア Hello赤ちゃん教室

妊婦とそのパートナーまたは支援者に対して、助産師や栄養士による講話や参加者でグループワークを行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施数 8回
- ・参加者数

参加者 (組)	内訳 (人)		
	妊婦	夫	祖父母等
66	66	57	4

イ プレパパ教室

妊婦の夫またはパートナーに対して、助産師による講話や育児体験、先輩パパによる体験談、交流会を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、こどもっちパーク
- ・実施数 4回
- ・参加者数

参加者 (組)	内訳 (人)	
	夫	妊婦
36	36	4

ウ 離乳食教室

5～8か月の乳児とその保護者を対象に、離乳食の困り事や不安を軽減するため、講話や個別相談を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 59組

エ にこにこ教室

発達や関わり方に悩みのある2歳の子どもを持つ保護者と児を対象に、親子遊び、専門職による発達の見立て、個別相談を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 22回
- ・参加者延べ数 112人

オ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小中学生を対象に、性（生）教育の授業協力を行った。

- ・授業協力

対 象	実施回数 (回)	参加人数 (人)
		児童・生徒
小 学 校	3	52
中 学 校	8	956

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

- ・実施回数 35回 (9か月児健康診査時)
- ・参加者延べ数 689組

キ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 10回
- ・参加者延べ数 214人

ク びよびよ交流会

出生数の少ない地域（藤岡地域、都賀地域、西方地域、岩舟地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

- ・会 場 北部健康福祉センター、藤岡保健福祉センター
CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）
- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 50組

(3) 健康相談

ア 子育て相談

乳幼児期の子どもを持つ保護者に対し、育児、栄養、歯科に関する相談及び指導を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 117組

イ のびのび相談

1歳6か月児健診や3歳児健診及び相談・家庭訪問等において発達の問題や強い育児不安が見られた幼児期の子どもを持つ保護者に対して、心理職が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 24回
- ・参加者延べ数 56組

ウ こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを

聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（％）
649	638	98.3

(4) 個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、なんでも相談室及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア 個別相談

（単位：人）

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	27	793	850	64	0	26	1,760
面接	1,340	592	1,790	2,088	0	6	5,816
電話	348	1,603	308	381	0	33	2,673
計	1,715	2,988	2,948	2,533	0	65	10,249

※R3より、すこやか相談室・保健師・栄養士等による相談対応数を合算した。

イ 会議

参加会議 129回（ケース検討会議、受理会議等）

(5) 歯科保健事業

ア フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

- ・参加学校数 6校
- ・参加者数 753人

(6) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

- ・給付認定者数 10件

イ 出産・子育て応援ギフト

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てが出来る環境整備のため、身近な相談に応じ、様々なニーズに即して必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「ギフト提供（経済的支援）」を実施した。

伴走型相談支援では、妊産婦に対して、妊娠届出時、妊娠8か月頃、乳児家庭全戸訪問で面談を行い、出産育児等の見通しを立て、不安の軽減を図った。

経済的支援では、妊娠届出時面談後に妊婦1人当たり5万円（出産応援ギフト）、乳児家庭全戸訪問時面談後に子ども1人当たり5万円（子育て応援ギフト）を支給した。

・伴走型支援（妊娠8か月アンケート実施）数

対象者数（件）	回答数（件）	回答率（％）
643	635	98.6

・相談希望数、支援数

相談希望数（件）	延支援数（件）	支援方法（件）			
		電話	面接	訪問	メール
185	205	197	6	2	0

・ギフト提供者数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
713	664

こどものすだち応援係

1 相談支援等業務状況

(1) 心・育ちの相談

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等がこどもの発達や心の課題について相談を受け、必要に応じた検査を行い、専門的評価に基づく助言を行った。

面接相談・検査実績

（単位：件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
面接相談	500	385	616
電話相談	21	58	1275
オンライン相談	1	1	0
訪問相談			43
知能検査	47	16	86
言語検査	79	59	124

(2) 医療相談

こどもの心や発達に関する様々な相談に医師が応じ継続的な支援を行った。

実施状況

	令和6年度
回数（回）	20
延人数（人）	41

(3) 関係機関への巡回訪問

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等が、園や小中学校等への巡回訪問を行い、こどもの発達に合わせた効果的な指導方法について助言を行った。

巡回訪問実績

(単位：回)

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
幼稚園・保育園	47	37	49
学童保育	20	12	5
小中学校	29	30	15
合計	96	79	69

(4) 関係機関との連携会議

支援を必要としているこどもに関係する者が、園や学校、病院等で状況の把握、課題の整理、支援方針等を話し合った。

実施状況

	令和 6 年度
回数（回）	24
関係機関数（箇所）	78
会議出席者数（人）	201

2 啓発活動

障がいの有無にかかわらず全てのこどもが地域の中で豊かに暮らせるよう、保護者や支援者のための研修や市民向けの講座を開催した。

(1) 啓発活動（講演会等講師派遣）

実 施 日	演 題 等	主 催
6 月 27 日（木）	通級指導教室担当者研修会	学校教育課
12 月 8 日（日）	保護者支援講演会	保育課

(2) 保護者研修（ペアレントトレーニング）

実 施 日	演 題 等	講 師	延べ参加者数（人）
10月28日（月） 11月18日（月） 12月2日（月） 12月16日（月）	自分らしく前向きな子育てができるよう、家庭での子どもへの関わり方を学ぶ	明星大学心理学部心理学科 教授 竹内康二氏	47

(3) 支援者専門研修（こども支援スキルアップ研修）

実 施 日	演 題 等	講 師	実参加者数（人）
11 月 8 日（金）	こどもの発達と心の理解	栃木市内中学校スクールソーシャルワーカー 公認心理師 渡邊文子氏	24
12 月 3 日（火）	発達障がいの理解と支援	目白大学 心理カウンセリング学科 教授 高橋稔氏	31

12月19日(木)	アセスメントとプランニング	宇都宮大学大学院 教育学研究科 准教授 司城紀代美	26
2月6日(木)	発達の課題や心因性の課題を持つ児童への支援	上毛病院 精神科・心療内科 医師 星野美幸氏	28

(4) 市民講座

実施日	演題等	講師	実参加者数(人)
10月16日(水)	登校、登園に不安のあるこどもへの対応	柳川小児科 医師 柳川悦子氏	14
11月20日(水)	発達が気になる子への支援	栃木市内中学校スクールソーシャルワーカー 公認心理師 渡邊文子氏	29
12月10日(火)	青年・大人の発達障がいについて	上毛病院 精神科・心療内科 医師 星野美幸氏	36
1月29日(水)	知ってほしいな きょうだいの気持ち～障がいのある妹がいる姉の立場から～	ばななば 相談支援事業所 Well-Being 相談支援員 牧子晃那氏	17

3 未就学児ことばの教室

言語発達に課題を持つ未就学児童を対象にことばの指導を行った。

(単位：人)

	実人数	延人数	実施場所
栃木教室	30	711	栃木保健福祉センター 大宮公民館
大平教室	8	196	大平健康福祉センター
岩舟教室	5	110	静和地区公民館
合計	43	1,017	

4 こどもサポートクラブ

こどもサポーターの協力のもと、地域での仲間づくりや社会性の伸長を目的としたクラブ活動を行った。発達特徴に合わせた支援を行うため専門員も参加した。

	回数(回)	延参加人数(人)	実施場所
ミュージック	8	17	大宮公民館
クリニカルアート	8	14	大宮公民館
フットサル	8	38	アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)

合 計	24	69	
-----	----	----	--

5 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

・会 場 栃木保健福祉センター

開催回数（回）	受診児数（人）			結果内訳（人）		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
16	48	2	50	38	0	12

6 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

・実施状況

（単位：人）

受診者数	結 果 内 訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
943	664	111	54	12	102

児童家庭相談係

1 児童福祉関係

(1) 児童福祉施設措置児童数

（単位：人）

施 設 別	児 童 数		
	男	女	計
乳 児 施 設	1	2	3
児 童 養 護 施 設	23	17	40
児 童 自 立 支 援 施 設	2	1	3
児 童 心 理 治 療 施 設	1	1	2
フ ァ ミ リ ー ホ ー ム	1	-	1
自 立 援 助 施 設	1	-	1
障 害 児 入 所 施 設	5	-	5
身 体 障 害 者 療 護 施 設	-	-	-
里 親 委 託	6	1	7
合 計	40	22	62

(2) 家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員4

人により各種の相談指導を行った。また、ヤングケアラー・コーディネーター1名による啓発活動と児童の状況把握や相談支援を行った。

月別・相談区分別相談指導件数及び訪問回数

区分 月	養護相談		保健 相談	障害 相談	非行	育成相談				その他	合計 (件)	訪問回数 (回)
	虐待	その他				性格行動	不登校	適性相談	親子関係			
4	474	-	-	-	-	1	31	-	5	22	533	61
5	535	-	-	-	-	3	-	2	-	5	545	77
6	459	-	-	-	-	3	-	-	-	8	470	54
7	462	-	2	-	-	-	-	4	-	19	487	46
8	439	-	-	-	-	-	-	4	-	2	445	72
9	410	-	-	-	-	-	38	-	-	8	456	67
10	517	2	-	-	-	-	-	4	-	20	543	102
11	422	4	-	-	-	1	-	2	-	17	446	92
12	405	-	-	-	-	-	4	4	-	26	439	81
1	461	4	-	4	-	-	-	2	-	21	492	56
2	516	-	-	-	-	-	-	-	-	6	522	112
3	486	4	-	-	-	-	-	4	-	14	508	121
計	5,586	14	2	4	-	8	69	26	5	168	5,882	941

ヤングケアラー対応人数 15人

ヤングケアラー・コーディネーター対応件数 延べ540件

(3) 養育支援家庭訪問事業

児童虐待防止対策として養育支援家庭訪問事業支援員2人を配置し、児童の養育力不足のため支援を要する家庭に対し、家庭訪問等による育児・家事の援助を行った。

月別・ケース区分別訪問回数及び対応ケース数

区分 月	養育者の 諸問題	虐待関係	家庭養育 上の問題	施設等から の家庭復帰	心身上 の諸問 題	合計 (回)	対応ケース 数 (件)
4	8	1	5	1	-	15	12
5	18	-	3	2	-	23	22
6	5	1	2	1	-	9	9
7	8	2	1	2	-	13	10
8	14	-	1	1	-	16	13
9	5	1	-	-	-	6	5
10	10	-	-	-	-	10	8
11	14	-	1	1	-	16	9
12	10	-	3	1	-	14	9
1	12	-	1	-	-	13	8
2	18	-	4	1	-	23	15

3	14	1	-	-	-	15	10
計	136	6	21	10	-	173	月平均11

2 ひとり親家庭福祉関係

母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
転 宅 資 金	1	180,000
就 学 支 度 資 金	1	348,000
合 計	2	528,000

3 配偶者暴力相談支援センター関係

相談、証明書等発行状況

相談 人数	来所 延件数	電話 延件数	訪問 延件数	証明書等発行件数
175 人	184 件	612 件	37 件	住/意見 20 件 保/年 2 件 来 3 件 意見提出 3 件

※ 住/意見 … 「住民基本台帳事務における支援措置申出書」に対する意見

保/年 … 健康保険、年金に係る証明書

来 … 来所相談証明書

意見提出 … 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第 14 条第 2 項に基づき裁判所から意見提出を求められた件数

4 こども食堂関係

市内で実施するこども食堂の開催にあたり、ホームページ等での周知広報、寄附の受入調整、市有施設の利用料減免や、子ども食堂開設運営補助金の支給等の支援を行った。

子ども食堂開設運営補助金の支給実績

支給団体数	金 額 (円)
5 団体	408,000